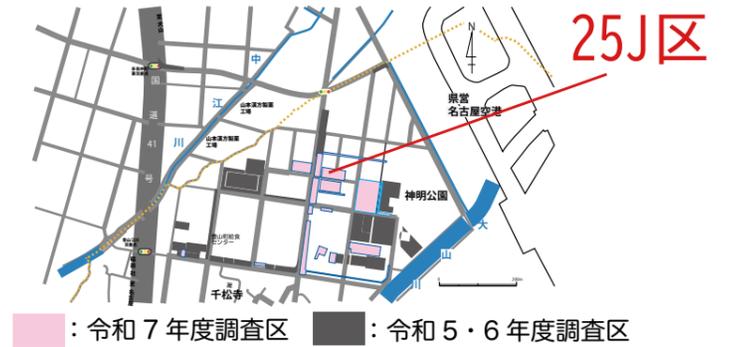




青山神明遺跡 発掘だより 15号

令和 8年 2月 27日



25J 区位置図



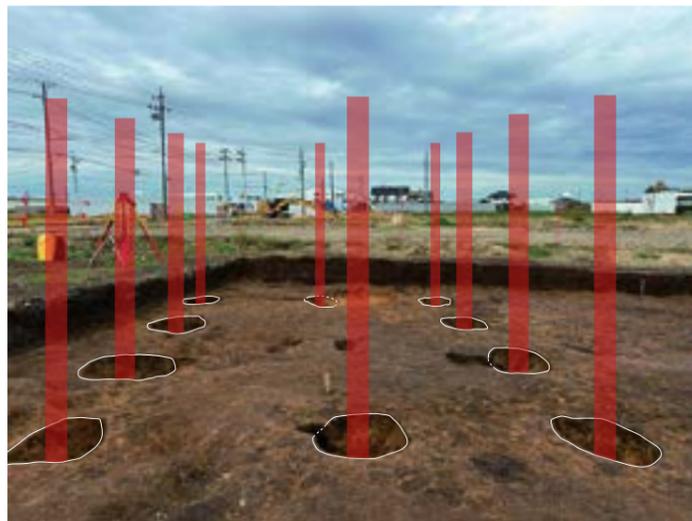
古墳時代の高坏が出土した様子



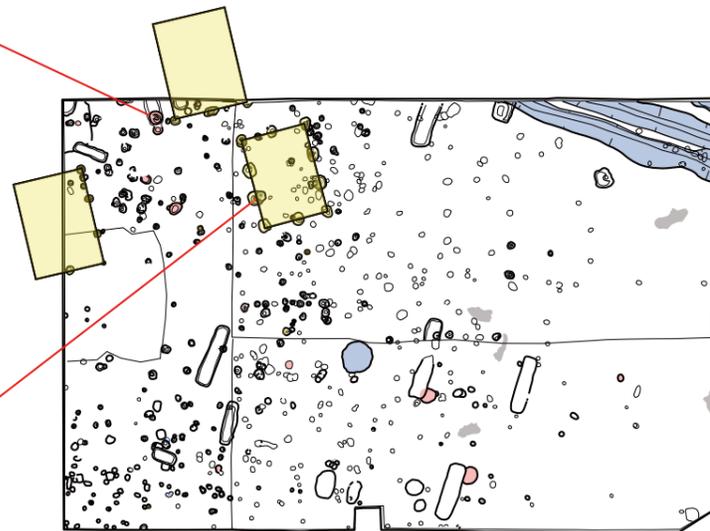
- ・柱穴が密集するエリア
- ・古墳時代や飛鳥・奈良時代中心
- ・湧水層まで深め

- 古墳時代
- 飛鳥～奈良時代
- 鎌倉～江戸時代

- ・溝や井戸が分布するエリア
- ・鎌倉～室町時代中心
- ・湧水層まで浅め



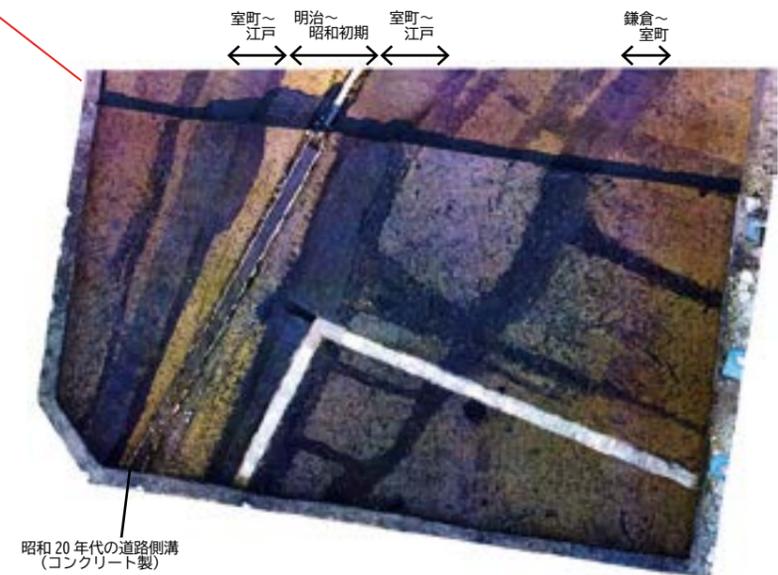
飛鳥～奈良時代の掘立柱建物



25J 区 全体図



鎌倉時代の井戸



鎌倉時代から江戸時代の溝

◆25J 区の調査成果

25J 区の調査では、西側と東側で遺跡の内容が大きく異なる様子が確認できました。西側では飛鳥・奈良時代の掘立柱建物を始めとして、建物の柱穴が密集しています。また、古墳時代の土器が出土する浅い穴もあります。東側は柱穴が極端に少なくなり、かわりに鎌倉以降の井戸や溝が見つかります。特に南北方向の溝は、少しずつ位置をずらしながら長い期間使われ続け、最終的には昭和 20 年代に道路の側溝として踏襲されました。

編集



公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター

〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24

<http://www.maibun.com>